

Information

②洪水浸水想定区域図(鈴鹿川)

【図の説明】

この度、国土交通省より、鈴鹿川(国土交通省管理区間)の想定し得る最大規模に相当する洪水浸水想定区域図が公表されました。この洪水浸水想定区域図は、鈴鹿川・鈴鹿川派川の(国土交通省管理部分)河道の整備状況を勘案して、鈴鹿川流域における6時間総雨量391mm(概ね「1000年に一度」)に伴う洪水により、鈴鹿川・鈴鹿川派川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

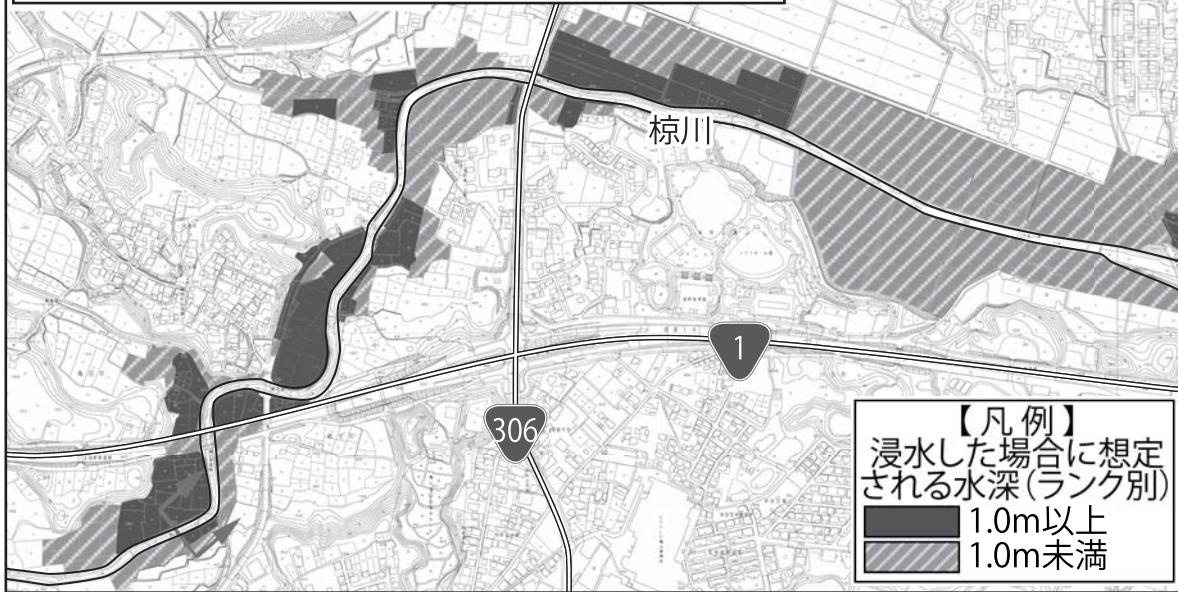
なお、このシミュレーションは、想定を超える規模の降雨による氾濫や支川の氾濫、津波、高潮及び内水による氾濫などを考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

三重県管理河川は、棕川について平成24年に棕川の洪水防御の計画の基本となる1時間最大雨量90mm(概ね「30年に一度」)に相当する洪水浸水想定区域図が、鈴鹿川との合流点から、羽若町・北町まで、また中ノ川について平成18年に中ノ川の洪水防御の計画の基本となる1日総雨量300mm(概ね「50年に一度」)に相当する洪水浸水想定区域図が鈴鹿市と津市について公表されています。

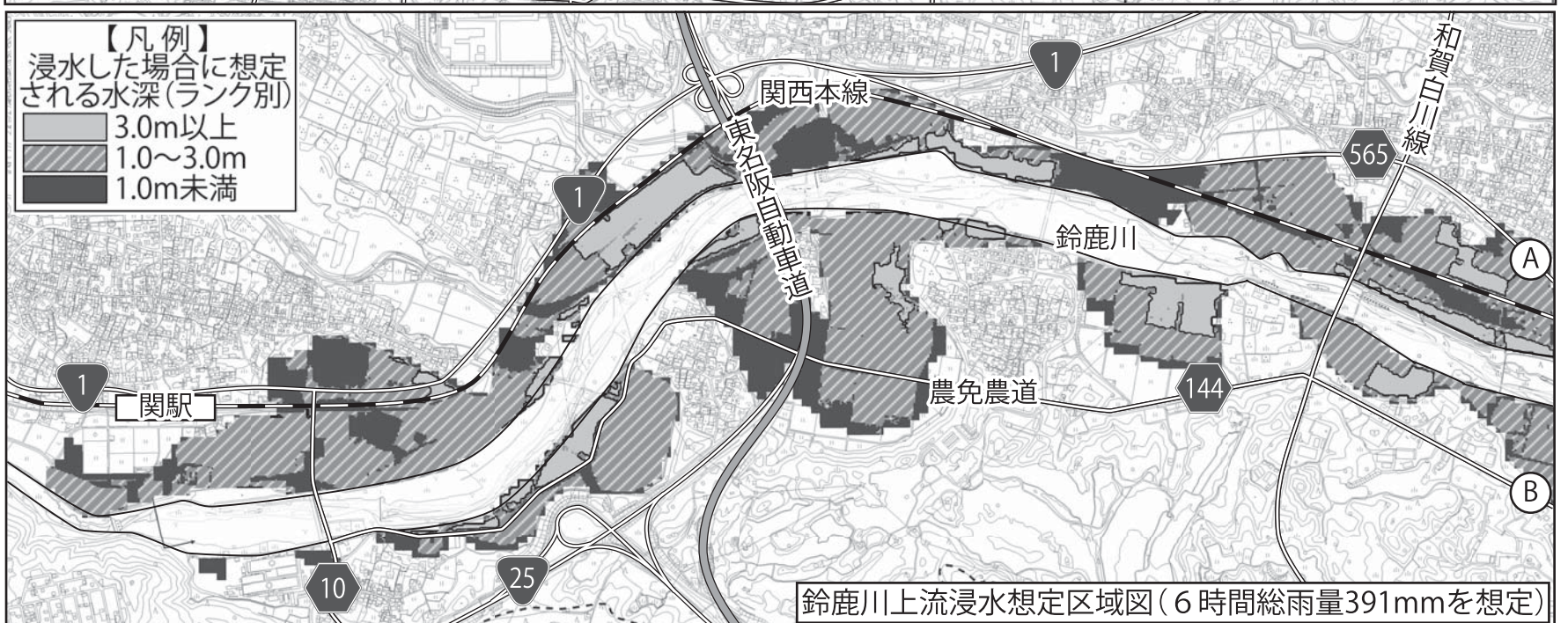
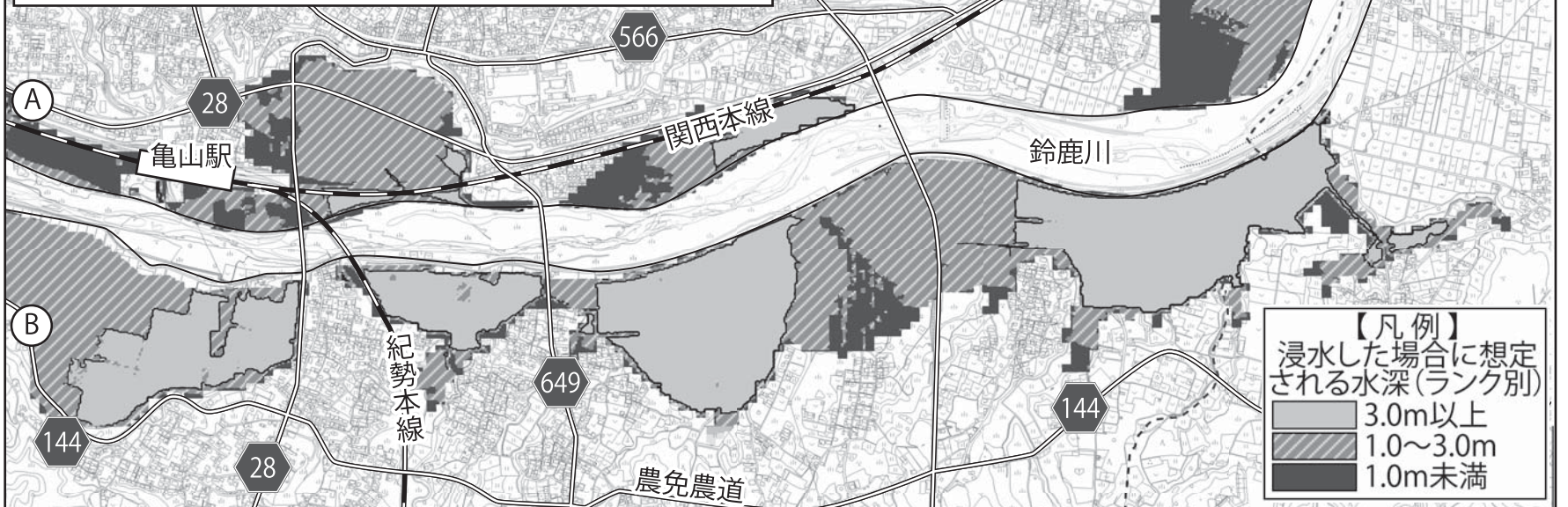
なお、洪水防御の計画は、時間雨量により設定していますが、中ノ川の計画は時間雨量を設定する前であったことから、日雨量により設定されています。

今後8年間のうちに両河川の県管理区間について想定し得る最大規模に相当する(概ね「1000年に一度」)洪水浸水想定区域図に改訂される予定です。

棕川浸水想定区域図(1時間最大雨量90mmを想定)



鈴鹿川下流浸水想定区域図(6時間総雨量391mmを想定)



鈴鹿川上流浸水想定区域図(6時間総雨量391mmを想定)